

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立金指小学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長はじめ、学校から「市の教育理念」「金指小の教育目標」「めざす子供の姿」等、運営方針や子供たちに身に付けさせたい力について具体的な話を織り交ぜながら毎回丁寧に説明があり、そこから話しやすい雰囲気の中で熟議することができ、学校と思いを共有することができた。学校運営の経営強化のために当事者として主体的に協働できるよう、さらに積極的に熟議を重ねたい。
- 今の時代に合わせた「学校・家庭・地域」で共に子供を育てるというビジョンについて、具体的に熟議していきたい。
- もっと子供たちと関わる場ができると、子供の姿や成長が見られ、協議が深まると思う。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 「かなさしポイントウォーク」は、「地域の人との触れ合いを通して」ということをねらって計画し進められた。子供の動きを想定して、ポイントやコースを考える過程で、各委員の多様な視点からの発言があり、熟議を進めることができた。昨年度よりもさらに運営に参画している意識が深まり、熟議を進めることができた。
- 金指には、地域連携のもとで学校運営を共に進めやすい要素が多いと感じる。それだからこそ、ポイントウォークなどが単なる行事として客観視されないよう、活動全般への理解を広める必要性を感じた。今後の課題としたい。この活動を保護者にも知っていただき、また活動に参加してもらうことで地域のつながりも深めていきたい。
- 地域の中に広く協力者ができる手立て、気軽に小学校へ立ち寄れる仕組みを考えたい。

### <評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 「かなさしポイントウォーク」が金指の町全体の行事となるような手立てを考えたい。具体的な運営としては、まだまだ学校主体的であるので、もっと地域人材を生かすことを考えたい。持続可能な活動となるよう、長期的な見通しをもって熟議していきたい。  
ただ、「協議会＝ポイントウォーク」となってしまうことは避けたい。
- 来年度は学校教育活動の4つの重点に資する取組について、子供たちや学校と直接的につながる機会をもち、学校運営に主体的に関わっていきたい。
- 年度初めの会議（第1回）で学校の全職員と顔合わせしたり、各学年の年間指導計画を基に支援・協力してほしい学習活動について話し合ったりする機会を設けることで、学校の実情や課題に沿った活動を行っていきたい。
- 地域の組織や団体、ボランティアに参画の幅を広げ、仲間を増やしたい。そのために、広報活動（学校便り、学校HP、地域回覧等）をこれまで以上に活用するとともに、学校運営協議会委員の地域ネットワークを積極的に使って、学校と地域、保護者をつないでいきたい。様々な年代の人たちを学校とつなぐ役割を果たしたい。